

昭和31年6月18日第3種郵便物認可
毎月1回1日発行
定価1部15円
印刷所 田辺印刷株式会社
上田市原町 TEL (2) 1492・2566

千曲会報

編集兼発行人 小林 尚一
発行所 社団法人千曲会
長野県上田市常入信州大学繊維学部内
振替 長野 6243・東京 43341
電話 上田(2)1215(代表)(2)1218(直通)

母校のこの一年

信州大学繊維学部長 小泉 清明

はしがき

この頃の世の中の動きはあわただしく、今の1年は明治大正時代の10年にもあたるといわれる程だが、大学とてこのうち外でなく、最近では学部学科の機構、教育や研究のあり方学生の動向など、いわゆる大学論議が年ごとに活発になってゆく。安閑として象牙の塔にたてこもったというような昔の大学の姿ははどうやら過去のものになりつつある。当学部もまた例外ではあり得ず今年もまた動きの激しい年であった。

總會を機会に恒例によつてこの一年の母校の動静を同窓各位にご報告したい。

信大一般教育の統合問題

今年の学部にとつて最大の問題は信州大学の一般教育統合の問題であった。本年1月12日三村学長が来学し、信大の一般教育を松本1ヶ処に統合して行きたいという意向をきり出したのが問題の発端である。理由とするところは信大が一般教育を現在のうちに3ヶ処に分れて行くことは大学の正しい姿ではないということのほかには直接的な動機になったことは文部省の施設部が昨年10月国立大学建物施設の長期整備計画をたてたことにある。すなわち文部省は昭和38年から49年にわたる約10ヶ年を5期にわけて、大学の建物施設を大幅に整備充実したいという。このうち第1期と第2期に手をつけたいものは大学基準に照して不足し

ている建物の充足、老朽建築の改築を主とし、このほかに大学の改組拡充に伴うもので学内の意見が統一され大学討議会で議決されたものに限りこの計画に加える。施設部は信大に対しては、昭和26～27年大学設置審議会第九特別委員会の勧告の線にそつて、一般教育は松本地区1本に統合すべきことと教育学部の松本分校は長野本校に合併すべきことの二つの基本線を前提として、一般及び専門教育施設の長期将来計画を樹立せよと要請した。この基本線が承諾されない時は、施設部としては信大全体の施設計画は第1～第2計画の中にもりこむことはできない。繊維学部に対しても、この計画がうけ入れられない時は、焼失建物の再建も老朽建物の改築も認めない。文部省の意をうけて大蔵省主計局も同様な意向であった。私も37年11月に単独にこの意向を文部省から示された。

信州大学の一般教育統合問題は大学開設以来今日まで14年間論議が続けられたが、各学部の複雑な事情のためなんらの結論を生むにいたらなかつた困難の問題である。したがつて今回の学長の強硬な提案は各学部には大きな波らんを呼びお



上田築城380年祭を祝う上田獅子

こし、学部ごとに真剣な討議が重ねられ、討議会もあらゆる角度から問題を論じた。文部省に対する回答の期限である7月上旬の討議会において最終的に述べられた結論は、医学部と農学部は学長案に全面的賛成、文理学部は賛成ではあるが多数の教育の供出には反対、工学部は統合は希望するが松本にゆくことには全員不同意、出来るならば北信南信に2分してもらいたい。教育学部は本分校の合併に根本的難色があり多数教育の供出は専門教育の支障となる、繊維学部は統一見解に達しない故態度を保留。結局大学としての意見統一ができないために一般教育についての施設計画はこれを保留し、専門教育のみの将来計画を提出することに落ちつた。ただし教養統合はけい統審議をすることになった。元来この問題の提出のしかたには無理があり施設を先きにして教育の基本方針をこれにあわせようとする考え方には、同じく文部省に

おいても大学学術局はかなり批判的であつた。

学生の授業放棄

学生側は教養統合を強く希望した。すなわち現在の一般教育は分立の状態にあるために極めて弱体であり統合によつて専門の異なる全学の学生が互いに話しあいの場をもつて視野を広めよりよい人間形成が可能になると主張する各学部の学生自治会は連合体を組織しこれが主力になつて一般教育の全学的統合の線を強くおしだした。彼等は評議会の議がまとまらないことに

業をにやし、6月26日授業放棄を計画して統合の実現を強要した。この計画は一部の学部を除いて全学的に決行された。当学部にあつても必ずしも完全とは云い得なかつたが1日間のストが行われた。自治連幹部はさらに7月4日第2波を計画したが当学部自治会の猛反対にあつてこれは実現をみるにいたらなかつた。自治連幹部のめざす結局の目的は必ずしも正しくないとは云わないが、その言動は急進的で、各学部の困難の事情は全然考慮せず、大量の一般教育教官の定員増を文部省に期待するが如き実現不可能な案をもちだし、終始之の背後に思想団体的臭いの看取されたことは誠に残念であつた。当学部では教官会議の決議によつて極力授業放棄の阻止につとめたが自治連加入の連帯責任から参加の止むなき仕儀になつたことはわれわれの説得の力の及ばなかつたためまことに申しわけのないことであつた。しかし第二次以後のストが当学部自治会の力で阻止されたことは学部にとつて幸なことであつた。

繊維化学工学科の新設

昨年ご報告した繊維化学工学科の新設が正式に認可されてこの4月学生40人を入学させた。これらの学生は1年間本学部で一般教育をうけるが、このために教官2名の定員増となり、すでに英語と心理学の教官が来任されている。講座は工業物理化学、単位操作Ⅰ、Ⅱ、反応工学の4よりなり、化学工業の工場の生産の機械装置について研究と教育を行う。この学科の専門課程のために39年度から3年間に教官12人、事務系職員17人の増員になる。

高分子工業研究所

念願の高分子工業研究所が改新期成同盟会のご厚意によって建物217坪が工費2,300万円で竣工し、7月12日の落成式とともに開所した。現在は呉教授外3名の学部教官が入所して高分子の物理、構造、合成などの研究にあたっている。内部設備としては目下赤外線分光光度計その他が近く到着、将来はX線廻折装置、超遠心器、紡糸実験装置なども設けたいと思う。この研究所は学部で高分子の研究にあたる教官が共同に利用するばかりでなく、広く学外あるいは業界とも提携して研究を進めたい考えで、研究費については研究維持財団の結成を計画中である。本研究所はわが国の大学では唯一最初のもので将来学部の一つの特徴としておおいに発展させてゆきたいと考えている。

建 物 関 係

繊維機械学科研究室720坪の第2期分400余坪が本年4月竣工した紡織工場270坪の移設築も完成し、7月12日高分子研とともに3建築の落成式を挙行政した。教官招致のための住宅は昨年国費によるもの1棟、期成同盟会の寄附によるもの5棟を新築した。

現在進行中の建物は繊維化学工学科の研究室300坪で昨年焼失した旧本館の跡地(西半)に鉄筋3階で工事中、また国費による教職員官舎2棟が農場の東南に工事中である。同盟会の好意による官舎は本年家族用4軒、独身専用5軒を近く入札に附する予定。これらが完成すれば本学部の教職員用官舎の数は合計30となる。なお学部では目下学園の環境整備を計画中で、近くその第一着手として正門とその附近の整備を初める。

次に来年、昭和39年度の建設計画であるが、昨年来各位か

ら大変ご心配にあつかった火災復興がどうやら実現できそうである。昨年焼失した旧本館は429坪で全館講義室に充当していたため今日学生の授業には非常に苦勞している。この復興は前述のように一般教育統合の線にひっかかって実現がほとんど絶望視されていたが、学部の猛運動によって39年度文部省建築予算に計上してもらうことに成功、目下大蔵省で査定中である。建坪は鉄筋3階の600坪で化学工学科とその東側に連続して建てられる紡織工学科研究室の中央部がT字型に南北にのびる建物として建設される予定である。

大学院修士課程

学部は本年7月、39年度の概算要求として大学院繊維学研究所修士課程の設置を申請した。目的は繊維学のより高度の研究とより高級の技術者を養成することにある。専攻課程は繊維農学、紡織工学、繊維工業化学の3つで、現在学年進行中の繊維機械学科と繊維化学工学科は完成後でなければ対象にはならない。修士課程設置の要求は幸にもただ1回の申請で文部省の承認する所となって39年度同省予算の中に盛り込まれた。繊維学の大学院は本邦唯一の特徴あるもので、これが承認されたのは、この特徴の質と、これに加えて本学が繊維学部として長い歴史と伝統あり、最近の学部の積極的態度が認められたためではないかと想像される。しかしこの実現は来年度は無理であると思う。すなわち大蔵省の査定の通過は疑わしい。これは昨年度文部省では認められたが大蔵省を通過しなかった大学が名古屋工大ほか数大学あり、また本年度文部省で認められた大学の大部分は2～3年前から申請を続けてきたものであり、これらの順位を考えると本年初めて申請した本学の修士課程実現は困難であろう。無理押しをすれば必ずしも39年度実現は不可能ではないと考えるが、ひるがえって学部事情をみると、現状は準備十分でなく、かえって1～2年の期間において教官陣容の充実、研究と教育の施設の整備を十分に行ってその基盤の上に実現を期待する方がよくはないか。学部教官一同は文字通りハイレベルの大学院の設置を希望しているので1～2年の準備期間において実現したいと思う。

幸に大学学術局でもこの点を保証しているので、やがては博士課程設置にも進展しうる大学院の設置を行いたいと思う。(38.11.20記)

本文は11月23日の同窓会の総会で講演した大要である。

信州鹿教湯温泉

日観連会員 交通公社協定 文 珠 荘

TEL (西内) 35

総合建設工事一式

土木建築アスファルト舗装 設計施工
上下水道衛生設備工事

長野県上田市大字常入682

株式会社 宮 下 組

TEL (上田) (2)0271.2071.4034

支会だより

東京千曲会の総会開く

宮下久吉

一呉教授の特別講演に感銘、
若い卒業生の参会多し一

昭和38年度の東京千曲会の総会は去る11月8日文京区の中央開拓会館で開催された。

今年の総会は新しい試みとして母校から呉裕吉先生をお招きして“繊維と高分子夢のかけ橋”と題する特別講演をお願いした。この試みは近年の総会参加者が蚕糸業界を中心とする比較的年輩の人々の集まりに片よってきているので、こういう傾向を打開する一つの試みとして広い範囲からの卒業生の参加を期待して行なわれた。参会者の氏名は別記のとおりであるが、参会者数において近年のうち最も多くかつ女性2人を含む若い同窓生諸氏の参加が例年になく多かったことはこの試みが成功であったことを物語るものと思う。

会は翌通り会長あいさつに始まり会務報告、会計報告のあと母校より出席された北条理事の学部を中心とした最近の動きの御報告、久間秀彦先生と特別参加の八木誠政先生のごあいさつと自己紹介を行なって交歓した。

会場の都合で閉会時間が早く(8時半)多数の参会者にとって充分の交歓の時間が持てなかったことを残念に思うが、今後できれば東京近郊で一泊の清遊を兼ねた総会を持ちたいものと考えている。

呉先生の名声を知る人でも今までに直接講演を拝聴した人は比較的少なかったと思われるが、短時間の間に良く高分子という難しい話を判り良く、お話し頂いて一同大いに感銘した次第である。

前日東京にお見えになった呉教授が講演の準備に固立蚕試で若干の同窓生の支援をうけながら図表作りを精進された話を承って私共の感銘は一入深かったのである。その道の大家にしてなおこれだけの学問研究に対する追究のきびしさを持っておられることが多くの人々の尊敬を勝ち得られているのではないかと思った次第であった。重ねて誌上を通じて呉先生に厚くお礼を申し述べる次第である。

出席者(出席順)

小林運美(糸16) 小泉辰雄(糸24) 宮下久吉(蚕32) 斎藤義臣(蚕32) 中村富隆(糸大5) 斎藤幸夫(糸大1) 武子鶴蔵(化4) 久間先生、北条理事、菊地ミツ子(教5) 富田庄三郎(糸8) 八木誠政先生、牧道男(糸20) 羽田満(糸24) 三谷勝(糸15) 寺沢豊子(学紡10) 下田幸男(学蚕8) 北原基(紡8) 中島陸男(蚕30) 下出敏達(糸38) 奥村忠治(蚕23)

岩本賢次(糸21) 小林顯(蚕34) 木曾信雄(紡11) 田沢四郎(蚕33) 吉畑栄(学糸7) 小林正毅(糸38) 等々力宣安(糸22) 近藤邦彦(蚕別7) 横内豊彦(糸22) 武井和夫(紡20) 竹内孝三(蚕14) 浜香三(紡3) 杉田博(紡18) 三沢正介(紡8) 大塚孝(蚕8) 玉田城三郎(蚕24) 杉野輝彦(糸21) 佐野正美(糸34) 山浦友樹(蚕31) 久保典生(学糸6) 野村忠義(化9) 福地進(蚕20) 荒木喬(蚕21) 呉先生、小平光雄(糸13) 中島正巳(蚕28) 小松計一(化6) 大木定雄(糸19) 斎藤正敏(学化2) 高柳英治(学化2) 井出敏三(学紡5) 西田勇三郎(糸16)

山陽支会の振替貯金口座番号を設定いたしました

今迄千曲会費を始め母校火災復興資金を山陽支会へ支会会員の方々からご送金いただきまますとき山陽支会事務所を御います処の社団法人山陽技術振興会の振替貯金口座番号へ払い込んでもらいました。

就てはこれには厄介な事務処理がいります。

依てこの度社団法人千曲会山陽支会の振替貯金口座番号を次の通り設定いたしましたから、これからは山陽支会の会員の方々は、この振替貯金口座番号をご利用の上ご送金下さいませようお願い申し上げます。

従ってこれからは支会と本部との送金はこの口座番号によってお互いに実施いたします。

社団法人千曲会山陽支会振替貯金口座番号 岡山 9,270番

所在地 倉敷市向市場町1,207番地
社団法人山陽技術振興会内
社団法人千曲会山陽支会

上田築城380年祭並びに市民会館落成祝賀式

上田城は天正11年名将真田幸村の父幸昌によって築かれた由緒ある城で信越沿線の名勝の1つである。今年ほちょうど380年にあたる、尚、長年の間市民から親しまれて来た赤屋根木造公会堂は姿を消しその後総面積3231平方メートル鉄筋2階建の近代建築のスイを施した立派な市民会館が今秋10月漸く完成された。今後同館は上田・東信地区の文化、政経のよりどころとして有意義に活用される事と思う。此の両記念祭典をかね11月18日から25日の7日間にわたって築城の折地がため式に奉納されたと伝へられる常田じし、房山じしの演出、展覧会、展示会、芸能公演会等もりたくさんの記念行事は盛大に催された。尚えびすこの時期でもあり市中近年まれた大賑であった。

本会記事

千曲会のあり方話し合い開催

11月11日千曲会館において、千曲会のあり方について賛助員の先生と本部役員との話し合いが催された。出席者は小泉学部長、萩原理事長、野口顧問、宮城相談役、羽島不二夫、小泉所、中村六男、会田源作、高木春郎、久間秀彦、村上尚の各賛助員の先生、山口定次郎、田口亮平、北条舒正、町田博、香山清和、竹内善吾、大屋正尚の各氏理事で萩原理事長から本会の事業、母校発展に協力した活動事業等を述べ、母校の発展とともに大世帯になった本会の運営がスムーズにいくよう話し合いの趣旨説明があり、田口理事が司会して、千曲会の性格、事業、一般会員と賛助員との緊密を増してゆく施策について賛助員の先生から貴重な留意ないご意見があり、極めて有意義な催しであった。

千曲会員完納者

会費完納者は千曲会報に掲載することになっているが、この度次の各氏は昭和36年の総会決議による、1時金納入後20回完納又は年々会費を納め40回分完納され、会費免除となった方で本会発展のためご協力を深謝いたします。

細田親二(糸15・愛知支会)
中山吉二(蚕12・鹿児島支会)
山田良人(糸18・静岡支会)

会報編集委員会開催

10月24日会報編集委員会を旧鹿沢温泉紅葉館に開催した。

参加者は小林理事、香山理事、小山定小林勝、大工原建の各委員で、角間歌の萌える紅葉を探訪し、レクリエーションを兼ねた委員会であった。

理事会開催

11月13日千曲会館において理事会が開催された。出席者は萩原理事長、母袋副理事長、野口顧問、宮城相談役、山口、町田、萩野、井沢、香山、小林、田中、白井、関、和田、松尾、川上、石川、遠藤の各氏理事で、11月23日開催の定期総会に附議すべき昭和37年度取支決算、昭和39年度取支予算案を始め本部提案議題について審議した。

監事会開催

11月22日千曲会館において、田口玲、竹内善吾、荒木喬、山崎管緑の各氏監事および萩原理事長、町田理事、石川理事事務局白井要範出席して基本財産管理状況、昭和37年度取支決算を始め本会業務執行状況を監査し、5時半無事終了した。

会 員 動 静

坂本 政雄 紡 7 石 川 北陸サイジング株式会社(金沢市石浦町73)

川岸 弘生 学紡 8 石 川 榎木谷商店(金沢市木倉町55)金沢市中弓ノ町1ノ1

宮沢 松治 学紡 1 愛 知 第1工業製菓KK名古屋工業品部工業品二課(名古屋市駅前名古屋ビル6階)名古屋千種区大久手町2の6

馬場 博史 紡 23 近 畿 呉羽紡績KK技術部特許課(大阪市東区本町2の28)

山内 一次 蚕 23 越 佐 県六日町蚕業指導所(新潟県南魚沼郡六日町)

浅沼 次雄 学紡 2 福 井 帝人KK北陸出張所生産課勤務(福井市大手町35福井放送会館3階)福井市牧之島町19字16帝人牧之島荘4号

松井須三郎 学系 1 上 小 東部中称津部校(小県郡東部町称津東市)

小泉 郁雄 紡 専 近 畿 鐘紡本部ナイロン加工部(大阪市都島区友淵町123)大阪市城東区西鴨野3の235鐘紡城東荘

清水 忠治 学紡 6 東 京 東京都小金井市貫井南町5の89小金井貫井住宅156号

鈴木 正 蚕別 3 栃 木 昭栄製糸(株)小山工場(栃木県小山市稲葉郷1001)

堀内 亨 学蚕 5 北 奥 盛岡ろうあ学校(住)盛岡市北山115

高木 繁夫 系 36 静 岡 東邦ベスロン三島工場 静岡県駿東郡長泉町土土狩字高石

高橋 伊作 系 14 三 重 三重県津市城山町
中山 剛 学紡 7 高 知 敷島紡績KK(高知市南泰泉寺158)

三井 勝美 蚕別 8 埼 玉 大宮市役所(埼玉県大宮市)
佐藤 亮 学蚕 5 北 佐 久 浅科中学校(北佐久郡浅科村)
堀込 宗吉 学蚕 7 静 岡 静岡県蚕業試験場(静岡市田町)

堀 功 学蚕 8 東 京 勤前と同じ(住)東京都渋谷区常盤松24境末太郎方
山際 明 学紡 2 近 畿 呉羽紡績本社 大阪市東区本町2の28

秋山 二郎 蚕 34 岐 阜 神榮生糸株式会社岐阜卓蘭所(岐阜県各務原市那加洞町3690)

石井 公男 系 17 埼 玉 片倉工業大宮製作所(大宮市吉敷町)

松崎 昇平 系 20 埼 玉 片倉工業大宮工場(大宮市吉敷町)

斉藤 宗雄 蚕別 3 埼 玉 亀山製糸KK埼玉出張所(埼玉県東松山市)

羽田 重雄 学蚕 1 東 京 片倉工業本社(東京都京橋3の2)八王子市中野町1の3898

稲垣 正人 学化 11 埼 玉 片倉パドソン大宮工場(大宮市吉敷町)

内藤 幸雄 化 3 愛 知 昭和染工KK(名古屋市東区大幸町600)


横沢 郁子 学化 11 愛 知 東海染工KK名古屋営業所(愛知県西春日井郡枇杷島町)

神林 正幸 学紡 1 南米コロムビア留守宅長野市往生地1373神林達子

望月 武則 学蚕 6 愛 知 愛知紡績KK名古屋工場(名古屋市中区山田町)

為替のご用は
はやくて たしかな
富士をご利用下さい

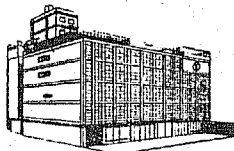
千曲会へのご送金は、当店宛の振替貯金
口座長野3523が一番ご便利です

上田市原町
皆様の  富士銀行上田支店

編集室より

本会総会は11月23日母校第1会議室で行われた。そのさい小泉学部長の講演“母校のこの一年”を寄せていただいた。西軽井沢の信大千曲寮工事が竣功した。格構の難い寮は会員ご利用の春を待っている。学部発展とともに大世帯になる本会の充実と会員の親睦にご協力をいただき各位に深謝いたします。多事多難な1963年も残り少なくなった。会員各位ご健勝にて希望に輝く新しい年をお迎えのほど心からお祈りいたします。

編集委員 小林尚一, 香山清和, 大屋正尚, 吉平福紀
窪田 衛, 大工原建, 小山 定, 滝沢達夫
小林 勝, 白井要範



皆様の百貨店

上田 中央



オルガン
ミシン針

長野県小県郡塩田町

オルガン針株式会社

TEL 塩田 650

社長 増島芳美